

現場見学会 次第

主 催 一般社団法人大阪建設業協会
協 力 株式会社久本組・日野建設工業株式会社共同企業体
日 時 平成 27 年 9 月 14 日(月)
13:20～14:50
場 所 今池水みらいセンター水処理施設(3-2系) 築造工事その2

1. 建設現場概要説明等

2. 現場見学

3. 質疑応答

見学時には引率者が付きますので、指示に従って行動をお願いします。

【注意点】

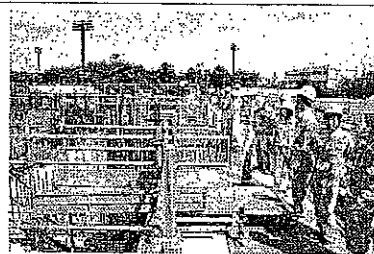
- ① 安全のため、見学エリア以外には立ち入らないようお願いします
- ② 現場作業中の機械に注意。(引率者の指示に従ってください)
- ③ 工事機械、工具等には触れないようお願いします。
- ④ 足元が悪いので注意願います。

大建協

都島工高生招き見学会

松原市の下水道処理場建設現場

大阪建設業協会(大建)の山下剛二所長に大協、奥村太加典会長は、阪市立都島工業高校(大14日、大阪府が松原市で、阪市都島区)建築科2年生60人を招き、現場見学会を開いた。生徒は、躯体コンクリート工事が進む様子を見学し、写真(久本組・日野建設工業)



下水処理場・今池水みらいセンターの本館会議室で説明会が開かれ、大阪府南部流域下水道事務所大和川工区の湯本良太副主査が下水道事業や仕事内容などを、山下所長は同工事の内容や工法、経過などを説明。

南部流域下水道事務所今池管理センターの後藤梨紗副主査は、下水処理の仕組みなどを紹介した。

続いて一行は、供用中の同センター3-2系に入り、後藤副主査の説明を受けながら最初沈殿池や生物反応槽、最終沈殿池の内部をのぞき込んだ。

そして施工中の同工事作業所に入り、山下所長の解説に耳を傾けながら大規模コンクリート構造物を見学。また地中に埋

まっていた鋼矢板の建設機械による引き抜き作業も間近で見た。

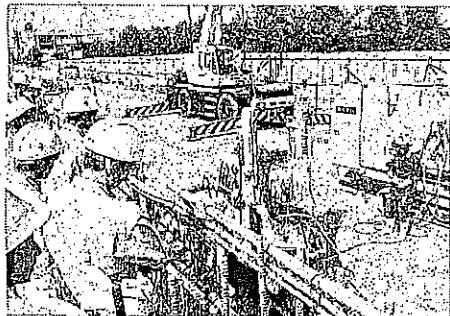
見学会後、生徒から「仕事のやりがいは」「高校生の間に行った勉強・経験のうち、仕事で役立つことは」「会社で女性であることが不利になりますか」などの質問があり、山下所長が「完成した時に達成感がある」「高校で取り組んだ測量実習が役立った」「女性も本社や現場事務所などに多数在籍している。不利になることはない」となどと話していた。

最後に生徒代表が「今日、学んだことを学校での勉強に生かしたい。ありがとうございました」と述べた。

同工事は、32・1層×50・0層、地上高3・0層、深さ10・8層の水処理施設の躯体を整備する事業で、13年10月25日に着工。既製杭工や本体作業土工、本体仮設工などを実施し、現在、躯体コンクリートなどを進めている。16年2月29日の完成を目指す。進捗率は約70%。

都島工業高校の生徒60名が参加

大建協 今池水みらいセンターを見学



大阪建設業協会は14日、松原市天美西で久本組・日野建設工業JVが施工している今池水みらいセンター水処理施設(3)の系築造工事その2の現場見学会を行った。

参加者は、大阪府立都島工業高等学校・建築科2年生の生徒60名(内、女性3名)に引率教員3名の合計63名で、普段は見ることができない現場の状況を目の前にした生徒は真剣な表情で、かつ、興味深く見学をしていた。

本工事の概要は、現場規模32・1層×50層、地上高3層、深さ10・8層、本体作業土工(掘削1万4300立方層、埋戻し3800立方層、残土処分2万3100立方層)、本体仮設(仮設且鋼杭63本、支保工設置撤去270㎡、アンカー打設22本、鋼矢板引抜

947枚、鋼矢板打設16枚、地盤改良7万5000㎡)、本体築造(既製杭149本、杭頭処理149か所、コンクリート7000立方層、型枠1万3000平方層、型枠支保7500立方層、鉄筋811ト、ガス圧接4700か所、合板木材蓋・PC蓋設置180か所、防食・防水4100平方層、角落し8か所、場内管路(铸铁管据付19層、舗装復旧57平方層)となっている。現在は本体築造(コンクリ)を行

2部。施工は久本組・日野建設工業JVが担当。工期16年2月29日。事業費約10億円。住所〓松原市天美西7。

見学会では、まず、山下剛一久本組・今池水みらい作業所現場代理人監理技術者が本工事の概要等を説明し、後藤梨紗大阪府南部流域下水道事務所今池管理センター副主管が今池水みらいセンター水処理施設概要・目的について説明した。その後、水処理施設内の処理設備と本工事の施工状況を見学した。

見学後には、質疑応答を行い、学校の代表者が「この経験は、学校生活においての糧になると思います。また、機会があれば呼んでください」と感謝を述べ、見学会は幕を閉じた。

建設通信 9月16日(水)

水処理施設に高校生60人

大建協



大阪建設業協会は14日、高校生を対象に現場見学会を開いた。府立都島工業高校建築科の2年生約60人が、久本組・日野建設工業JVが施工する今池水みらいセンター水処理施設(大阪府松原市)の現場を見学した。写真。

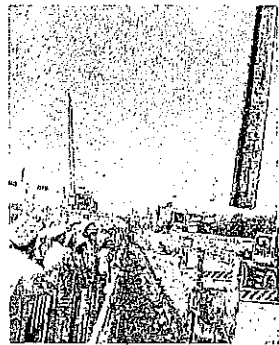
その後藤梨紗副主査が同センターの水処理の仕組みについて説明した。その後、2班に分かれて施設内部で水処理の様子や現場の各所を回った。見学の後、参加した生徒からは「高校生の間にどのような勉強や経験をすれば役に立つか」「最新技術にはどのようなものがあるか」といった質問が寄せられたほか、高卒1年目の新入社員の仕事ぶりについての紹介もあった。

今池水みらいセンターは西除川下流域など4322畝を対象とする下水処理施設で、同工事では3・2系水処理施設(処理能力日量6万8000立方尺)の最初沈殿池を築造する。地上高は3層、深さは11層。2013年10月に着工し、16年2月末の完成を目指している。

工事場所は同市天美西7。

大建協 今池水みらいC現場見学会 都島工高の60人が学ぶ

大阪建設業協会(高田守弘会長)は14日、「今池水みらいセンター水処理施設3-2系築造工事その2」の工事現場で、高校生対象の現場見学会を開いた。大阪市立都島工業高校の建築系2年生の生徒60人が参加。日頃見ることのない工事現場の様子を学び取った。



同現場は、久本組・日野建設工業JV(山下剛一所長)が施工を担当。

10年かけて段階的に築造する水処理施設3-2系のうち、最初沈殿池部の建設が進められている。完成予定は2016年2月。発注者は大阪府。当日は、生徒と引率教諭が稼働中の既存水処理施設の内部を見学し、その後、本体工

引き抜かれた鋼矢板を見上げる生徒ら

の建設現場に移動。支保工、型枠工、鉄筋工をはじめ、大型クレーンによる台板、鋼矢板の引き抜き作業を目の当たりにした。

初めての現場 「格好いい」

見学した女子生徒の一人は、「入学してから建築に興味があった。将来は建設業に入りたい。現場は初めて。格好いい」

と顔をほころばせていた。

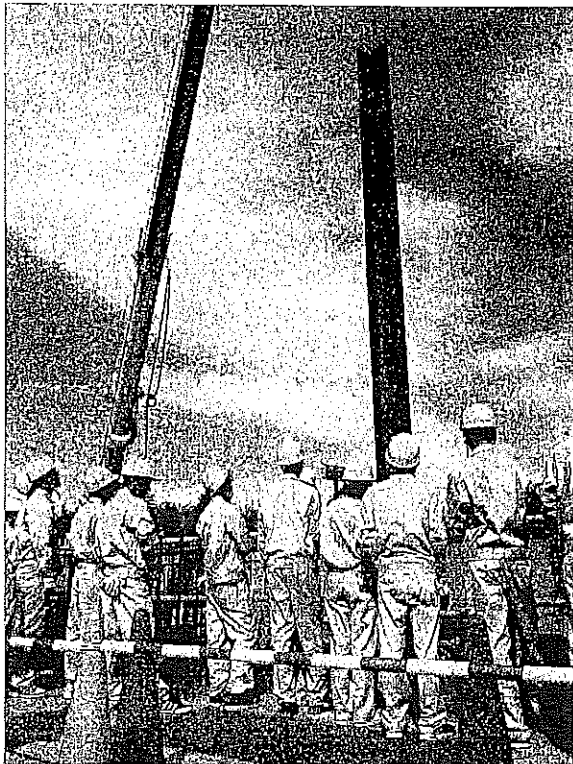
見学後には生徒から山下所長に対して、仕事についての素朴な質問が投げ掛けられた。「仕事のやりがい、大変さを知りたい」という質問に対しては、「竣工した後の達成感が一番。大変さはどうんな仕事にもある」と答えた。また、勤務時間については、若手技術者の川田渉さんの1日が紹介された。

大建協が高校生対象現場見学会

今池水みらいセンター 水処理施設(3-2系) 築造工事その2

施工
久本組・日野
建設工業JV

都島工業の62人が参加



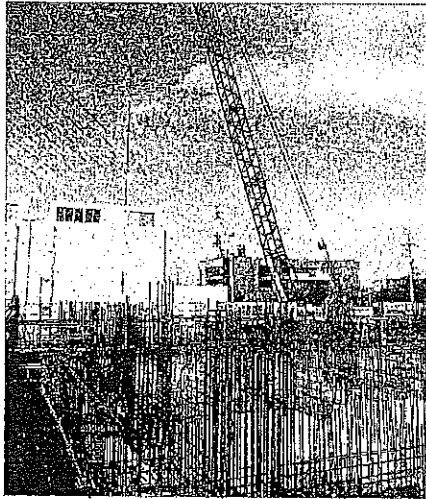
鋼矢板引抜き作業を見学する高校生たち



山下所長

高等学校建築科 年生六
二人が参加した。

大阪建設業協会(奥村
太加典会長)では、高校
生を対象とした現場見学
会を十四日、「大和川下
流域下水道今池水みら
いセンター」水処理施設
(三二系)築造工事そ
の二(大阪府松原市天
美西七丁目)作業所で開
催し、大阪府立都島工業
会を十四日、「大和川下
流域下水道今池水みら
いセンター」水処理施設
(三二系)築造工事そ
の二(大阪府松原市天
美西七丁目)作業所で開
催し、大阪府立都島工業



現場全景

に、三二系水処理施設として、「自分の信念を
を新設するもので、発注 持ち、良いこと悪いこと
者は大阪府南部流域下水 ははつきり言い、褒める
道事務所、施工は久本 時怒るときはある程度の
組・日野建設工業JVが 気遣いをするのが大
担当している。

見学会では初めに、南「見学会を契機に建設業
部流域下水道事務所今池 には是非興味を持つてほし
管理センターの後藤製紗 い」と、入職に期待を寄
副主査が下水処理場の説 せた。

明、次いで現場代理人の 工事は、本体作業土工
山下剛二所長が工事概要 として掘削工二四、三〇
を説明した後、生徒たち 〇立方尺、埋め戻し三、
は、水処理施設で生物反 八〇〇立方尺、残土処分
は、水処理施設で生物反 二二、一〇〇立方尺、本
心槽などの見学に続き、 工事作業現場へ移動、現
在、最初沈殿池において 杭六三本、支保工設置撤
鉄筋・型枠・支保工の組 去七〇トン、アンカー打
立て及び鋼矢板の引抜き 設(九・五・二五)以
作業が行われている現場 二本、鋼矢板打設(S
を見て回りながら、作業 Y三九〇L八・五)一
内容の説明を受け、熱心 六枚、鋼矢板引抜(Ⅲ)
に耳を傾けていた。

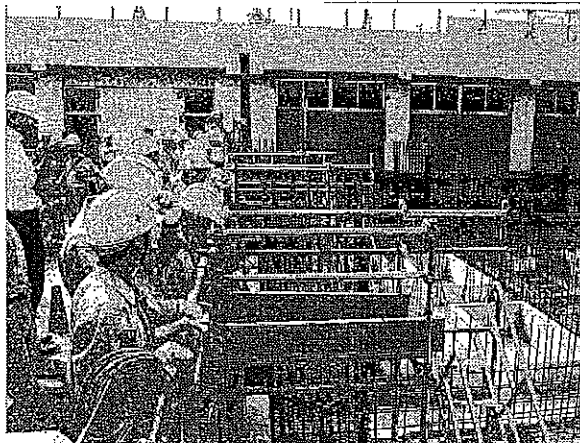
見学会終了後には、質 六・五)九四七枚、地
疑応答が行われ、生徒が 盤改良工七五、〇〇〇以
ら「仕事のやりがいや大 が行われるほか、本体築
変さについて」の質問に 造工、構造物撤去工など
対し、「やりがいは、竣 が行われる。現在の進捗
工した後の達成感に尽 率は七〇・二%で、無事
き、大変さは、建設業に 故無災害を継続中。工期
限らずどの職業にもある は平成二十五年十月二十
はず」と回答したほか、 五日から平成二十八年二
現場監督としての心がけ 月二十九日。

現場監督としての心がけ
月二十九日。

大建協見学会に都島工業の生徒62人

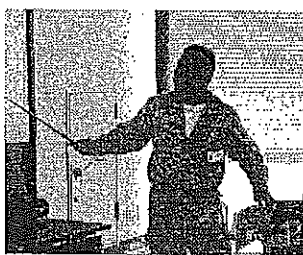
進む今池水みらいセンター水処理施設

一般社団法人大阪建設（施工）久本組・日野建設後、山下剛一J.V所長は業協会は十四日、松原市（施工J.V）の現場に大の案内で、稼働中の水処理施設に入って、最初沈水みらいセンター内で建築科の生徒六十二人を殿池・生物反応槽・最終設が進む「大和川下流流 招いた。



普段見ることのできない建設現場を目の当たりにした都島工業高校の生徒ら

域下水道今池水みらいセ 現場に集合した一行がきれいな水に変わっていくプロセスを目を見張り、続いて工事中の現場で、躯体コンクリート打設や本体鉄筋型枠工、試



工事の進捗状況等の説明をする山下所長

女性の建設現場進出にも関心高く

掘工、既設鋼矢板引き抜きなどの進む様子を目の当たりにした。

見学を終え、「仕事のやりがい、大変さについて」「建築業で必要な資格は」「工事現場で問題

施 工
久本組・日野建設工業J.V

どのような仕事に就けるか」との質問に対しては「この作業所では大工（解体工）に女性が従事しており、他には生コン、ダンプ等の運転手もよく見かける。大手ゼネコンには多数の女性技術者が従事している」とエールを送った。

今池水みらいセンターは、大阪市、堺市、松原市等計八市の水質保全と、大和川沿いの低地の浸水対策が目的で、平成二十六年度末の処理能力は一三八、〇〇〇立方メートル/日。

二十五年十月に始動した同工事は、3-2系水処理施設の最初沈澱池の土木工事で進捗率は約七〇％。着工以来、九万三の質問が寄せられ、山下所長らが丁寧に答え、さを継続中で、二十八年二月に「建設業界で女性は月の竣工を目指す。